

「高齢者サロン」において人権啓発活動を行いました

土岐地区部会

土岐地区部会は土岐市内の各所で開催されている「高齢者サロン」の二か所で人権啓発活動を実施しました。高齢者サロンは地域の高齢者がレクリエーションや文化活動によって交流を深める催しです。今回は人権擁護委員にこの場を提供していただき、楽しみながら人権について考えていただくことを目的に企画したものです。

10月4日土曜日に「上田町ひなたぼっこ」、10月8日水曜日に「栄楽曙会」で開催し、参加者は運営する方々を含めてそれぞれ50名と35名でした。主だった内容は、健康維持に関する講話、人権に関する講話、電子紙芝居、歌唱です。各委員がそれぞれの個性を生かしながら、健康維持についてはフレイルの予防知識と体操を紹介し、電子紙芝居は「泣いた赤鬼」の上演、歌唱ではギターの生演奏により懐かしい歌の数々を全員



で合唱し、会場は多変盛況でした。

人権に関する講話は「戦後80年」をテーマに、世界で起きている紛争と飢餓状況から先の戦争と人権について、講師を務める委員が自身と家族の体験を織り込みながら話を展開しました。参加された皆さんは大変熱心に聞いていらっしゃいました。

参加いただいた高齢者の方々、快くお招きいただいた運営団体の方々にはお礼を申し上げます。

